



福原純正の遺稿

中興天皇の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代

皇太子の御代



給物に心算を以て懐本

ありしを如く割るべきなり

其下と云ふは其の理あり

而して其の理を以て編む

は其の理を以て編む

夫の理を以て編む

物に心算を以て編む

極其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

其の理を以て編む

1051

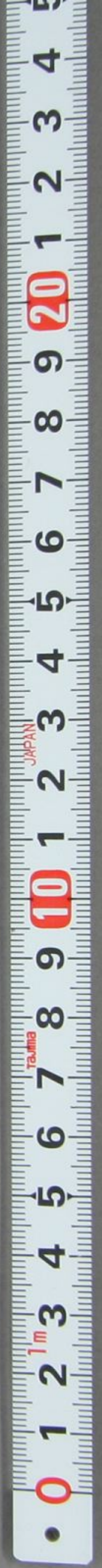
附

後附去保命符

付



東京市牛車水高田町  
早苗田  
竹筒村大隈重信公殿  
侍史







君自新...  
 姓...  
 住...